

エイジングケアプログラム 本格美肌コース



美容業界で大注目の『ヒト幹細胞培養液』
を使った究極のアンチエイジング！！

たるみ
シワ

ハリ
不足

毛穴

乾燥

細胞年齢マイナス15歳目指せます！

お肌ふっくらもっちり！

毛穴も引き締まり、美肌効果抜群！

お肌の若返りをぜひ体感してみてください！！！！

エイジングケアプログラム 本格美肌コース

(施術時間 約60分)

デビューキャンペーン 8回コース (通常6回+2回)

クレンジング・洗顔・拭き取り・ヒト幹細胞培養液塗布

導入マシン・ハンドトリートメント

ヒト幹細胞培養液

※INCI取得済み・純国産

ピュア 264,000円
メスト2 99,000円

糖・ミネラルに
こだわった
基礎化粧品

※7ジャンルコスメーション

プレミアム 132,000円
メスト 66,000円

最新美容
導入マシン

※Beauty Lusso II



美容アプローチと医療アプローチ

◇美容アプローチ

現状の見た目のみを美しく人に魅せるためのアプローチ。

化粧や髪型などで、今の現状をより美しく見せたり、若く見せたりする

『対症療法』

的なアプローチ方法です。

◇医療アプローチ

再生医療を主流として

『根本治療』

に基づくアプローチ方法です。

加齢などにより減少した細胞を若かった頃と同じ細胞量へ増殖することを目的とします。

G SERIESでは、医療アプローチにて肌細胞を増殖させ肌機能を改善。そして美容アプローチで更に美しく魅せる！！ことを目的としています。

ヒト幹細胞培養液とは

・再生医療の現場でも活用される「ヒト幹細胞培養液」。
G SERIESで使用されるヒト幹細胞培養液は、高濃度「ヒト脂肪由来幹細胞培養液」または「ヒト骨髄由来幹細胞培養液」です。

・人体の脂肪または骨髄組織より抽出した幹細胞の培養時に分泌される上質な部分のみを抽出した上清液となります。

・サイトカインやインターロイキン、SOD（抗酸化力）を豊富に含み、皮膚組織の再生を促進する高機能性素材です。

ヒト幹細胞培養液を肌に使用することで

基底膜にある幹細胞の一種、表皮幹細胞は表皮細胞を作り出しターンオーバーの周期を司っており、真皮層にある繊維芽細胞がコラーゲン、エラスチン、ヒアルロン酸を生成し肌組織を作り出しています。

この繊維芽細胞を生み出しているのは真皮幹細胞です。

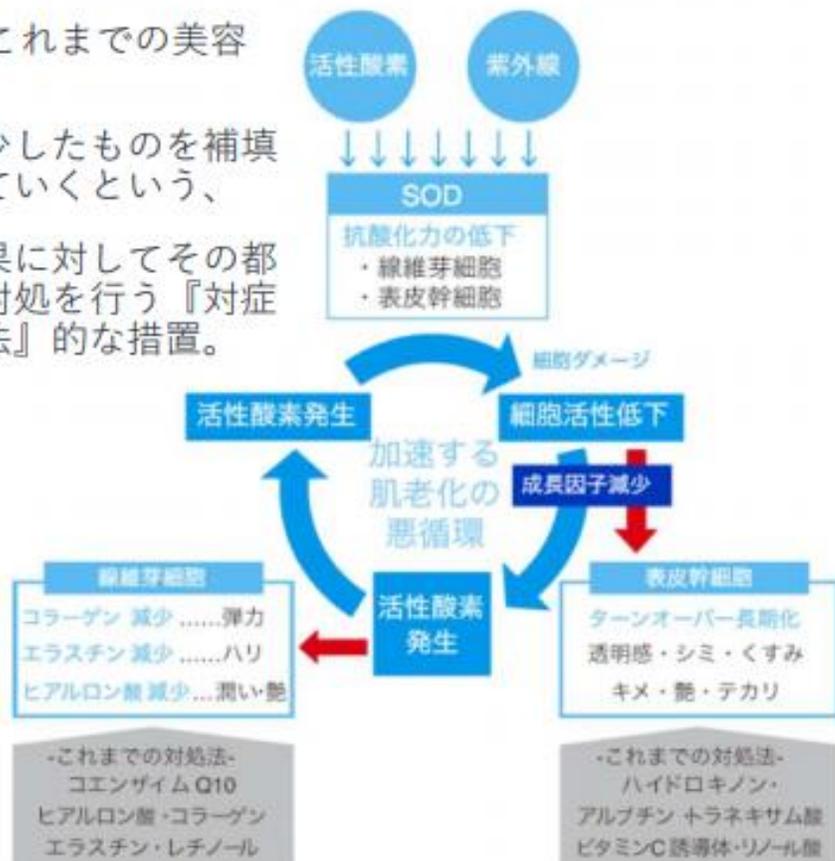
真皮幹細胞が繊維芽細胞を量産し、表皮幹細胞を量産すれば、繊維芽細胞がタンパク質を量産しターンオーバーが正常化することで肌組織は若々しい健康な状態に戻ります。



これまでのとの違い

これまでの美容

減少したものを補填していくという、結果に対してその都度対処を行う『対症療法』的な措置。



細胞活性低下 → SOD減少 → 活性酸素大量発生 → さらに細胞活性低下 →

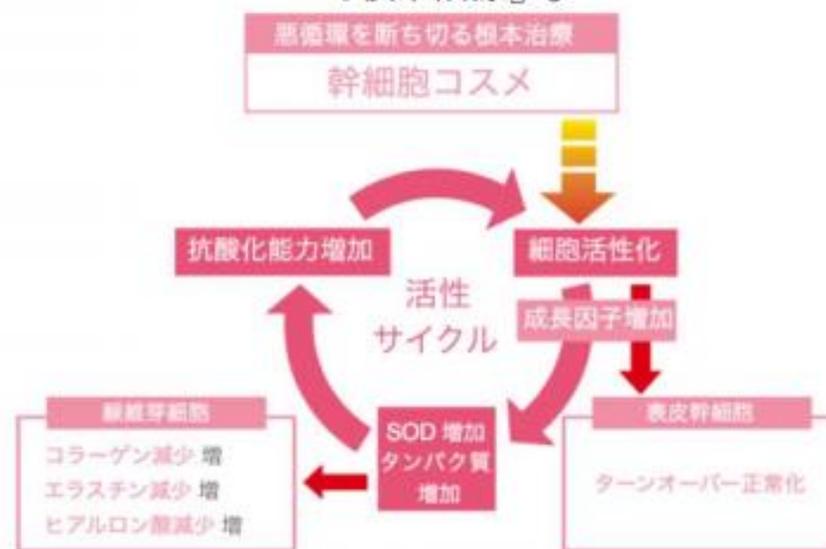
①成長因子減少 → タンパク質減少 → シワ発生

②成長因子減少 → 細胞増殖減少 → ターンオーバー長短期化 → シミくすみ

美容医療

細胞の活性という根本的な原因に着目した

『根本治療』。

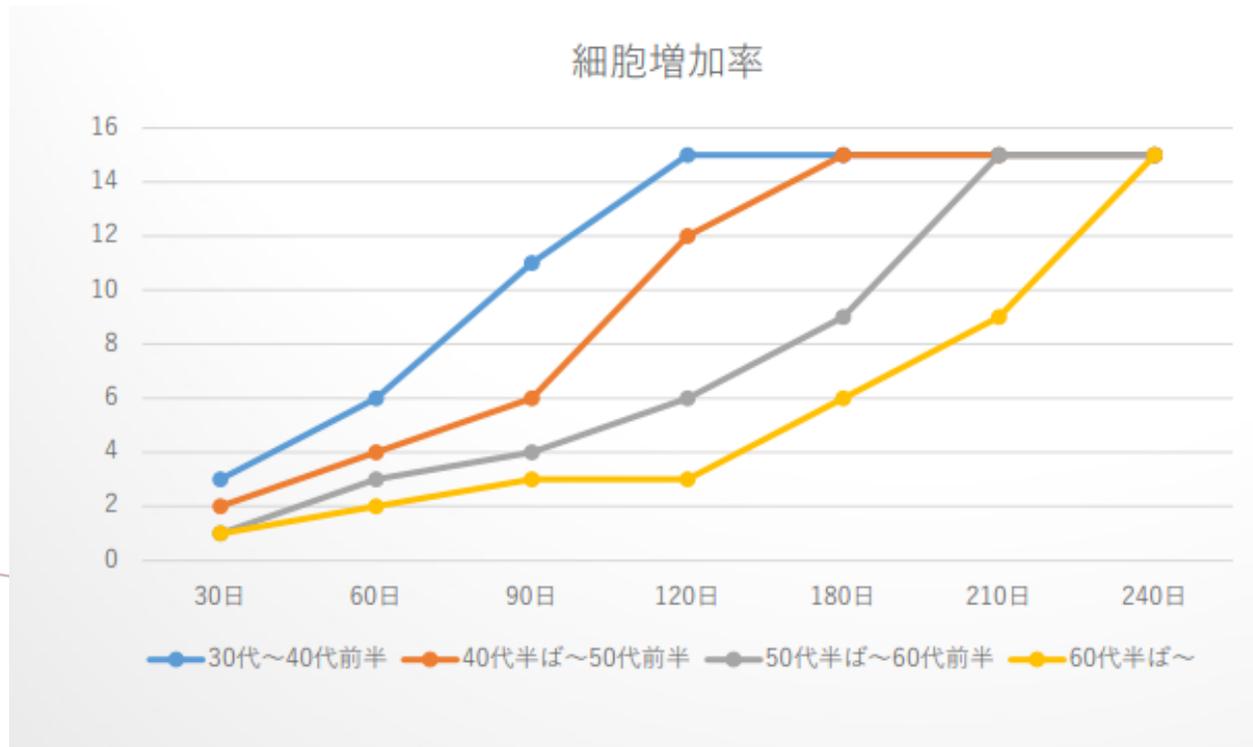


真皮幹細胞に線維芽細胞を増産させ、線維芽細胞に丈夫なタンパク質を量産させる。

表皮幹細胞に表皮細胞を量産させ、ターンオーバーを正常化することが根本原因の解決につながる。

細胞量の増殖までの時間

- ・ ヒト幹細胞培養液は約15年前の細胞量を取り戻すことが可能といわれています。しかし、使用してすぐにその効果を得られるわけではありません。
- ・ 下の図は年代ごとに約15年前の細胞量までの増殖期間を表したグラフです。



細胞の増加率は、年齢によって大きく異なります。

若返った細胞が目に見えてくるまでには、ターンオーバーが必要となり、グラフは細胞内（目には見えない）部分ですので、青のグラフラインの人たちでもピークに戻った細胞が目に見えるには6ヶ月前後要することになります。

ヒト幹細胞培養液の弱点

- 1.細胞再生後、目に見えるまで時間を要する。
- 2.細胞増殖後目に見えるまで28日～56日のターンオーバーと必要とするだけの時間を要する。
- 3.頭皮環境が悪いと頭皮環境の修復にヒト幹細胞培養液の力が分散してしてしまう。)
- 4.分子が非常に大きいので、塗布するだけでは効果を発揮しない。

ヒト幹細胞培養液 国産と外国産の違い①

純国産ヒト幹細胞培養液

厳正なドナー検査をクリアした、健康な日本人から採取した幹細胞を、国内の最高水準の設備（国際基準準拠施設）で培養し、20日間培地した上質な上澄部分だけをしようすることで、高い安全性を実現したのが、私たちが扱う、『純国産・原液のヒト幹細胞培養液』です。

劇物や劇物や毒物の除去に至るまで安全にこだわり、安心してご活用いただける、純国産のヒト幹細胞培養液を原液のまま凍結状態でご提供しております。

健康な日本人の脂肪または骨髄から幹細胞を採取したのち、更にその幹細胞の安全性や質を検査しています。

厚生労働省許可認定製品になるまで

1. 20歳～35歳以下の女性に限る。

2. ドナー検査をクリアする。

3. GLPをクリアする。（GLPとは・・・GLP（Good Laboratory Practice）は、化学物質に対する各種安全性試験成績の信頼性を確保することを目的とします。OECDにおけるGLP原則は1981年に制定、1997年に改訂され、化審法では昭和59年（1984年）3月にGLP制度を導入し、OECDのGLP原則に整合しています。GLP制度は、試験施設ごとに運営管理、試験設備、試験計画、内部監査体制、信頼性保証体制等に関するGLP基準への適合性を確認し、試験成績の信頼性を確保するものです。GLP検査には1回数千万円の費用が発生します。）

4. GMPIに基づいた培養施設で培養する。（製造・品質管理の国際基準に基づいたクリーンルーム）

5. 日本化粧品工業連合会にてINCIコードを取得（国際コード並びに国内コードの取得）

6. INCIコードを取得した物が化粧品としての使用を認められる。（認可済となる。）

INCI

日本培養研究所で製造されているヒト幹細胞培養液はINCIコードを取得し、国際的にも国内でも登録認可を受けた商品です。

製品名 : ADSC-NES

国際INCI名 : Human Adipocyte Conditioned Media

国内INCI名 : ヒト脂肪細胞順化培養液

日本で販売されている日本製の商品には、厚生労働省の指示により本来であればINCIコードが取得されている成分が表示されていなくてはなりません。

成分表示に、『ヒト脂肪細胞順化培養液』と記載されているものは私どもが所有している認定されたヒト幹細胞培養液であることを意味しています。※『ヒト脂肪細胞順化培養液エキス』は、別会社のINCIコードとなります。

成分表示の注意事項

ヒト幹細胞培養液は、成分表示を勝手に使用している商品が多数出回っています。当会グループ以外において所有しているヒト幹細胞培養液を使用し販売している業者は、以下のサイトで確認可能です。

<https://www.cosmetic-info.jp/jcln/detail.php?id=14478>

ヒト幹細胞培養液 国産と外国産の違い②

外国産 ヒト幹細胞培養液

海外のものを国内で詰めて国産と言っていたり、劇物や毒物が除去されていないものや、培養液とその他成分が混同していたり、別のものと混ぜて希釈しているものなど、混交している現状です

海外製製品の特長としては、培養期間の短縮により大幅にコストを削減していることも挙げられます。

実際に、培養期間（培地）を短縮することで

- 培養液に含まれるコラーゲンやヒアルロン酸、サイトカインの量は、純国産に比べて雲泥の差。（数字的には天文学的差となります。）
- 培養コスト（装置の起動時間や保存機器の使用時間の大幅な短縮）、人件費ダウンに繋がることで安く市場に流通させることが可能。
- 日本製の培養期間・・・20日間
- 海外製の培養期間・・・3日間

※現在の国内市場では95%が韓国製とされています。